



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和5年12月22日(金) 第18号

みんなでのびる

- ☆高め合う子
- ☆助け合う子
- ☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

2学期の学校運営のご協力に感謝



「5年 宿泊学習」



「運動会」



「4年 ICT 活用による
玉井小との交流授業」



「学校評議員の授業参観」



「3年 まゆの糸取り」

2学期の85日間、学校の教育活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

8月に行われた5年生の宿泊学習に始まり、6年生の修学旅行、陸上交歓会、運動会、持久走記録会、学年の学習の発表会、授業参観、個別懇談と多くの学校行事を順調に進めることができました。学校再編2年目となり、各行事もだいぶスムーズに運営することができるようになりました。しかし、まだ課題が残されており、来年度はよりよい計画になるようにしていきたいと思っております。

町の「シルクプラン」では、地域の体験学習や英語学習、SDG's、ICT教育などが重点教育になっています。それを受け、本校の教育計画にも重点として盛り込まれ、各学年共に、しっかりと取り組むことができました。

地域学校協働事業が始まり、ミシンボランティアや環境整備ボランティアなど多くの方々に学校の教育活動のサポートをしていただきました。

学校運営協議会(コミュニティスクール)がスタートしました。委員の皆様が学校の諸問題の解決や学校運営に関して意見を述べることを通して、地域ぐるみで学校を支えていく仕組みです。11月の第2回協議会では、「子どもたちが落ちていて学習に取り組んでいる。2年目とは思えない。」とお褒めの言葉をいただきました。

しかし、残念なこともありました。2学期になり、生徒指導上の問題が多く現れてきました。学校では、いじめ案件等が起きた場合、すぐに対策委員会を開き学校としての対応を協議していますが、2学期は対策会議を多く開くことになってしまいました。事が起きてからではなく、その前に防ぐことが大切です。今年度の学校経営・運営ビジョンでは、「相互理解・寛容」「思いやり・感謝」に重点をおき、道徳教育や特別活動に力を入れてきましたが、引き続き心の教育に力をいれていきます。

12月からは、来年度の教育計画作成に入ります。学校評価のご意見と今年度の教育活動の反省を踏まえて計画を策定していきます。

最後に、改めまして2学期の保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。3学期もよろしくお願いいたします。



「6年英語 中学校の先生による授業」



「持久走記録会」



「2年 ふれスタパーク安達太良訪問」



「里山登山」



「6年 近畿大保本先生によるSDG's授業」